

6.1 6年生として

1. 題材設定の理由

最高学年に進級したこの時期、児童たちは、「最高学年になった」という気持ちはあるものの、何がどう変わり、何をすべきかということが漠然としていてわからないことが多い。

そこで、最高学年になった自分の抱負を明確にさせ、交流する中で自覚を高めたい。また児童会活動の中心として、委員会や縦割り班のリーダーとして、学校の中心となって活動しなければならないという使命感をもたせたい。活動をより具体化することによって、意欲をもって活動に参加させたい。

2. 指導のねらい

最高学年になって、学校のリーダーとしてどんな生活や活動をすればよいか考え、自分の願いを具体化し、意欲を高めることができる。

3. 指導計画（全1時間）

本時	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年としてどんな生活を送りたいか具体的な願いを出す。 最高学年として学校みんなのためにどんな活動をしたか具体的な願いを出す。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自分の願いが守られているか、振り返る。 学校みんなのためにがんばって活動している子を認め合う。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年としての意識を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎委員会やクラブ活動などで6年生のお兄さんお姉さんの様子を話し合う。 (うれしかったこと、すごいと思ったことなど) ・放送委員長さんから放送の機械の使い方を教えてもらった。 ・委員会のポスターを描いているときに手伝ってもらった。 ・縦割り班でおもしろい遊びを教えてもらった。 ◎作文を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間一緒に活動した委員会活動、クラブ活動などいろいろな場面を振り返り、6年生のすばらしい姿を思い出させる。 	ノート①
課題：最高学年としてどんな生活や活動をすればよいか考えよう。				
中心的な活動	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年としてどんな生活を送ればよいか考え、自覚を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎最高学年としてどんな生活を送りたいか書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習を進んでやりたい。 ・進んで掃除をやりたい。 ・下級生に優しく接したい。 ◎学級（班）で交流する。聞き手はメモをしながら聞き、友だちの良い意見、まねしてみたいところを見つける。 ◎最高学年として学校全体にかかわる（役に立てる）活動としてどんな活動があるか考え、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の委員長 ・縦割り班リーダー ・通学班のリーダー ・運動会の係長 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面、学習面など様々な場での願いを書かせる。 ・一人が発表した後、聞き手に感想を言わせてもよい。 ・だれもが学校のリーダーとしてがんばろうという意識を高めるために、5年生とは違う立場にあることを押さえる。 	ノート② ノート③
	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年として学校のためにどんな活動をしたか具体的にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎上で出た意見を参考にして、どんな役割でどんな活動をしたか具体的に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞委員長：委員会の中心となって係分担を決めたり、全校インタビューを行ったりしたい。 ・縦割り班のリーダー：1年生を迎えに行ったり、出席をとったりしたい。 ・通学班のリーダー：右側通行、一旦停止を守り安全に学校まで通学したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動を考えさせ、願いを具体化させる。 ・最高学年として、学校のリーダーであるという意識を高めていきたい。 ・具体的な活動が思いつかない児童については、昨年度の6年生の姿をもう一度振り返らせる。 	ノート③
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意欲を高めることができる。 	◎上で書いたことを交流し合い、お互いの良いところを認め合う。		